

但缺勤ノトキハ部長又ハ部員ノ指定スル醫員之ヲ取扱ヒ執務時間ノ外ハ其ノ鍵ヲ庶務部ニ預ケ置クヘシ

第二十九條 鑄鑄又ハ毀損チ生シ研磨修補ヲ要スルトキハ簿冊ニ其ノ品目個數ヲ登記シ現品ヲ添ヘ庶務部ニ回付スヘシ

第三十條 手術室ハ外科部ノ主管トス故ニ同部員ハ殊ニ清潔法ニ注意スヘシ

第三章 調劑部

第一項 調劑部長

第三十一條 製劑ハ日本藥局方ニ遵ヒ調製スヘシ

但醫員特別ノ製法ヲ記示シタルモノハ此限リニアラス

第三十二條 製劑製藥ハ調劑員ニ指揮シテ調製セシムヘシト雖モ品種ニヨリテハ親シク調製スヘシ

第三十三條 藥品購入及器具器械ノ新調又ハ改良ヲ要スルトキハ庶務部ニ請求スヘシ

第三十四條 藥品ノ眞價純雜價格ヲ鑑査スヘシ

第三十五條 處方箋又ハ處方録ニ依リ調劑セシメ若クハ調劑シタルモノヲ鑑査シ其ノ處方箋及處

方録ハ庶務部ヘ送致スヘシ

第三十六條 氷牛乳ソツア等ノ營養品并ニ療用品ノ良否ヲ鑑査シ其ノ取扱ヲ監督スヘシ

第二項 調劑員

第三十七條 調劑ハ本院常用參考録ニ照準スヘシ

但醫員ヨリ別段ノ處方ヲ記示シタルモノハ此限リニアラス

第三十八條 入院患者處方録ニ醫員ノ捺印ナク又ハ外來患者ノ處方箋ニ醫員ノ捺印及藥價等收入濟又ハ之ニ關スル證明ノ證印ナキモノハ調劑スヘカラス

第三十九條 處方録及處方箋中藥名用量配合上又ハ字畫ニ疑團アルモノ又ハ劇毒藥ニシテ其ノ極量ニ超ルト認ムルトキハ調劑部長或ハ醫員ニ質問シ而ル後調劑スヘシ

第四十條 調劑了レハ其處方録又ハ處方箋ニ就キ藥品ノ記標ト對照シ誤謬ナキトキハ必ス捺印ヲ附シ調劑部長ノ査閲ヲ受ケ之ヲ交附スヘシ

但交附シタル處方録處方箋ハ每一日分取纏メ調劑部長ニ差出スヘシ

第四十一條 藥瓶及藥袋上ニ姓名服量用法及年月日等ヲ記シタル標紙ヲ貼付シ患者誤用ノ虞ナカラシムヘシ

但本條ノ標紙ハ内服藥ハ白色外用藥ハ黄色劇毒藥ハ劇毒藥或ハ注意藥ノ小印ヲ捺シタル青紙ヲ用ユヘシ

第四十二條 日本藥局方中特ニ貯藏法ヲ示シアルモノハ其所定ニ從フヘシ

第四十三條 毒藥劇藥ハ他ノ藥品ト區別シ毒藥ハ鎖鑰ヲ備ヘタル場所ニ貯藏スヘシ

第四十四條 藥品受拂簿等總テノ簿冊調製及記録ノコトヲ掌理スヘシ

第四十五條 式ニ依リ器械原簿ヲ製シ其ノ毀損購入等増減ヲ精密登錄スヘシ

但一ヶ月一回調劑部長ノ立會ヲ求メ實地點檢ヲ遂クヘシ

第四章 庶務部

第一項 庶務部長

第四十六條 庶務部長ハ職務章程ニ依リ一切ノ庶務ヲ管理シ殊ニ會計事務ノ整理ハ其ノ責ニ任スルモノトス

第四十七條 各科部長醫員等ヨリ請求アリタル事項ハ院長ノ指揮ヲ受ケ速ニ處理スヘシ

第二項 書記

第四十八條 庶務會計ノ二掛ニ分屬シ部長ノ指揮ヲ受ケ服務スヘシ

第四十九條 庶務ニ關スル一切ノ事件ヲ處理シ書類ノ編成及保存ヲナスヘシ

第五十條 職員ヨリ缺勤届等ヲ受ケタルトキハ庶務部長ノ檢閲ヲ求メ勤怠簿ヲ整理シ且ツ所定ノ塗板ニ其ノ氏名ヲ揭示スシ

第五十一條 看病婦小使給仕等諸雇員ノ取締ヲナスヘシ

第五十二條 院中一切ノ備付品消耗品等總テ物品取扱ノ事ヲ管理スヘシ

第五十三條 院中一般ノ掃除修繕等ニ注意スヘシ

第五十四條 毎日患者ノ入院院ヲ調査シ總テ病室ノ取締ヲナスヘシ

第五十五條 賄方ヲ管理シ患者食糧ノ良否ニ注意スヘシ

第五十六條 入院又ハ往診ヲ請フモノアレハ族籍、住所、姓名、年齢等ヲ簿冊ニ登録シ各部長又ハ醫員ニ回報ノ手續ヲナスヘシ

第五十七條 患者危篤又ハ死亡ノ通知ヲ受クルトキハ速ニ其ノ證人或ハ親族ニ通知スヘシ

第五十八條 會計ノ整理ヲ掌リ其ノ書類ノ編成及保存ヲナスヘシ

第五十九條 總テ費用豫算定額ニ基キ整理スヘシ

第六十條 藥價入院料等凡テ徴收金ニ係ル怠納又ハ不納ノ場合ハ必ス庶務部長ノ指揮ヲ受クルニ

アラザレハ處斷スヘカラス

第六十一條 金錢出納及物品ノ購入供給ハ會計規則其ノ他ノ成規ニ依レハ勿論ナリト雖モ猶左ノ各項ニ依リ處理スヘシ

一 外來患者ニ係ル藥價療用品及手術料等ハ處方箋及手術箋ニ各部長又ハ醫員ノ登記シタル藥種分量及手術ノ等別總テノ療用品ニ至ルマテ其ノ代價ヲ計算登錄シ金庫出張所ニ納付セシメ其ノ顛末ヲ記スヘキ補助簿ヲ備フヘシ

二 入院料ハ規定ノ種別ニ隨ヒ十日間毎ニ入院料手術料特別藥價并ニ療用品料及營養品料ヲ精査シ入院料計算簿ニ登錄シ而シテ納入告知書ヲ發シ毎十日ノ翌日ヨリ一週間内ニ徵收スヘシ但十日以内ニ退院又ハ病室ノ轉換ヲナスモノアルトキハ其際本文ノ手續ヲナスモノトス

三 總テノ支出金錢ハ金庫ニ命シ現金ノ取扱ヲナサ、ルモノトス

四 經費支出ノ日ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 俸給雜給ヲ除ク諸費 五日、十五日、二十五日

但休日ニ該當スレハ繰下ケトス

二 年末年始及解剖執行ノ際ノ如キ其ノ他院長又ハ庶務部長ノ特ニ指示シタルトキハ臨時支

出ノ手續ヲナスモノトス

五 物品ノ渡日ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 消耗品 一日、十五日

但石油、石炭、炭ハ毎日トス

二 療用品 隔日

以上定日休日ニ該當スレハ繰下ケトス

第五章 當 直

第一項 醫 員

第六十二條 入院患者臨時發症アルトキハ速ニ適當ノ處置ヲナシ當該部長ニ申告スヘシ

但危篤ノ症狀ヲ發シ處置シ難キトキハ速ニ當該部長ニ通報スヘシ

第六十三條 診察定時後ノ外來患者及入院ヲ請フモノアルトキハ診察ノ上相當治療ヲ施スヘシ

但手術ヲ要スル患者ニシテ當直員限ニテ治療ヲ施シ難キトキハ當該部長又ハ他ノ醫員ニ昇院

ヲ求ムヘシ又傳染病ハ速ニ報告ノ手續ヲナスヘシ

第六十四條 退院ヲナスモノアルトキハ其姓名ヲ簿冊ニ記シ庶務部ニ通知スヘシ

第六十五條 患者危篤ノ虞アレハ庶務部ニ通知スヘシ

但死亡シタルトキハ看病婦ヲ指揮シテ適當ノ處置ヲナスヘシ

第六十六條 入院患者簿及其他報告簿等ハ當直日誌ト共ニ各科部長ノ檢閲ヲ經テ次直ニ渡スヘシ

シ次直ノモノハ必ス之ヲ點檢シテ受領スヘシ若シ脱誤アラハ次直ノモノ其ノ責ニ任スヘシ

第六十七條 時々病室ヲ巡廻シ其安否舉動ヲ視察スヘシ

但午後十時庶務部員ト同時ニ在院患者ノ現員ヲ點檢スヘシ

第六十八條 繙帶交換、檢尿、檢温、皮下注射、灌腸等ハ看病人ヲ指揮シテ之ヲ施スコトヲ得

第六十九條 當直中醫事ニ關スル文書往復ノ事ヲナスヘシ

但緊要ノ件ハ院長ニ申報スヘシ

第七十條 賄方ヨリ調進セシ食糧ハ庶務部員ト會合ノ上點檢スヘシ

第二項 調劑員

第七十一條 至急ヲ要スル藥劑中缺乏アルトキハ庶務部員ニ議リ直ニ購入ノ手續ヲナシ翌日調劑

部長ニ報告スヘシ

第七十二條 當直中ノ處方箋處方録ハ別ニ之ヲ取纏メ翌日調劑部長ニ差出スヘシ

第三項 書記

第七十三條 部内一般ノ掃除ハ勿論藥瓶秤量其ノ他ノ器具等成ルヘク清潔ニスヘシ

第七十四條 當直中受クル所ノ諸文書ハ翌日其ノ主任者ニ回付スヘシ

但至急ヲ要スルモノト認メタルトキハ院長又ハ庶務部長ノ指揮ヲ請フヘシ

第七十五條 本院ノ印章并ニ倉庫其ノ他器械棚等ノ重要ナル鍵ヲ監守スヘシ

第七十六條 入院又ハ退院ノ通知ヲ受クレハ相當ノ手續ヲナスヘシ

第七十七條 入院患者危篤又ハ死亡ノ通知ヲ受クルハ相當ノ手續ヲナスヘシ

第七十八條 當直中受クル所ノ藥價往診料等總テノ金錢ハ日誌ニ登錄シ翌日出納吏ニ回付スヘシ

第七十九條 院内ヲ時々巡視シ煖爐燈火等ノ火元ヲ嚴重ニ取締ルヘシ

但午後十時醫員ト同時ニ在院患者ノ現員ヲ點檢スヘシ

第八十條 賄方ヨリ調進セル食糧ハ醫員ト會合ノ上點檢スヘシ

附屬療病院職員

病院長

從五位醫學博士醫學士 工藤外三郎 京都

顧問

從五位勳五等醫學博士醫學士 鳥村俊一 東京

內科部

第一部長

從五位醫學博士醫學士 工藤外三郎 京都

第二部長

正六位醫學博士醫學士 小川瑗五郎 大阪

醫員

京都醫學專門學校醫學士 松永周三郎 京都

京都醫學專門學校醫學士 小泉透 京都

京都醫學專門學校醫學士 小西匡 京都

京都醫學專門學校醫學士 伊東金四郎 靜岡

京都醫學專門學校醫學士 藤井丈夫 熊本

京都醫學專門學校醫學士 山脇秀吉 廣島

京都醫學專門學校醫學士 高橋章一 島根

京都醫學專門學校醫學士 田代常三郎 島根

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

小兒科部

正六位醫學博士醫學士 本庄謙三郎 京都

京都醫學專門學校醫學士 齋藤二郎 島根

京都醫學專門學校醫學士 松本隆吉 京都

京都醫學專門學校醫學士 藤木冬吉 京都

陸軍三等軍醫正八位京都醫學專門學校醫學士 林務滋賀

京都醫學專門學校醫學士 栗市春治 兵庫

醫學博士醫學士 河村叶一 岐阜

京都醫學得業士 藤森舜吉 三重

京都醫學得業士 藤森舜吉 三重

外科部

部長

職員

同	同	同	同	醫部	醫部	部	同	部	副部
京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士
木村辰三	山野清定	岡本工馬	岡本工馬	家原素男	山村直美	小橋隆治	加治安信	瀧山耐愛媛	野田浦彌和歌山
福井	岡山	福井	京都	京都	鹿兒島	廣島	三重	愛媛	東京

醫員	同	同	同	同	同	同	部	部	部	部	部	部	部	部	部
京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士	京都醫學專門學校醫學士
久保昱二郎	重本龜次郎	唐川武夫	成定敏衛	村井勝	山口	中村登	吉田政次郎	細田忠四郎	富岡末吉	木村直義	片岡照夫	佐谷有吉	廣島	廣島	京都

醫 員

京都醫學專門學校醫學士 若林貞作 新潟
京都醫學專門學校醫學士 鹿島德治 京都

調 劑 部

部 長

從七位藥學士 立入保太郎 京都

鳴川末男 熊本

原田平治郎 京都

和田福助 京都

吉田卯之助 京都

陸軍三等藥劑官正八位長崎醫學專門學校藥學士 佐藤喜久三 東京

坂上知吉 和歌山

石田武男 滋賀

宮川泉 新潟

小川仁三郎 京都

佐々木金一 京都

調劑員見習

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

庶務部

長 記

正七位 中道貫一 大分

從七位勳六等功五級 中村清三郎 京都

從七位勳五等功五級 松原禎造 京都

香川得三郎 京都

正八位勳六等 津里竹葉麿 滋賀

奧平剛一 京都

從七位勳七等 伊東友泰 大分

山本孝治郎 京都

岡部文藏 京都

小林顯亮 滋賀

入江頼之輔 京都

長島清一 京都

部 書 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同

嘱 託

石崎長祥	京都
櫻井愛之助	京都
吉田時次郎	富山
鈴木玉如	京都
西部孝司	岐阜
和田信順	京都

電氣事業

京都市技師正七位工學士 大瀧鼎四郎 山形

電燈事業

京都府技手 玉置孝助 新潟

看病人規定

第一章 總 則

第一條 看病人ハ規程ヲ遵守シ忠實ニ其職務ヲ盡スヘシ

第二條 看病人ハ本院職員ノ指揮命令ヲ受ケ患者ノ看護及手術場診察所等ノ勤務ニ従事スヘシ

第三條 看護人ハ手術場及精神病男室ニ配置ス

第四條 看病婦ハ普通病室精神病女室手術場診察所等ニ配置ス

第五條 看病人ハ各自ノ任務ニ從ヒ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

- 一 病室及ヒ診察所、手術場、等ノ備品及ヒ帳簿類ヲ管守ス
- 二 常ニ病室、手術場、診察所、内ノ消毒及ヒ清潔ニ注意ス
- 三 患者ニ接スルニハ殊ニ温順親切ヲ旨トシ苟クモ輕躁不遜ノ言行アルヘカラス
- 四 禮節ヲ重シ親和ヲ旨トシ猥リニ院内ノ事柄ヲ口外スヘカラス
- 五 品行ノ方正ヲ保チ動作ヲ靜肅ニシ苟クモ高笑雜談耳語等ヲ爲スヘカラス
- 六 服務中ハ制服ヲ脱スヘカラス
- 七 身体被服ノ清潔ヲ保ツヘシ

第六條 看病婦ハ常ニ院内ニ寄宿シ止ヲ得サル事由アルニアラサレハ外泊スルヲ許サス

第二章 取 締

第七條 看病人中看護人取締及ヒ看病婦取締若干名ヲ置ク

第八條 取締ハ常ニ看病人ヲ督勵シ醫員其他職員ノ命示ヲ傳達ス

第九條 看病人ヲ取締ル要項大率左ノ如シ

- 一 患者ニ對スル諸般取扱上ニ關スル事
- 二 病室、診察所、手術場ヲ清潔ナラシムル事
- 三 看病人ノ勤怠行狀其他身上ノ風紀ニ關スル事
- 四 諸物品ノ使用ニ注意シ濫用ノ弊ナカラシムル事
- 五 藥劑及療用營養品ノ用法ヲ誤ラシメサル事
- 六 帳簿類ノ記入方及ヒ器具器械等ノ取扱ニ關スル事
- 七 備付品類ノ破損紛失汚染等ナカラシムル事
- 八 看病婦ノ寢室及食堂ノ秩序ヲ保チ且ツ室内ヲ清潔ナラシムル事
- 九 看病人ヨリ差出ス願届書等ニ加印シ進達スル事
- 十 以上ノ外取締上必要ナル事項

第三章 病室心得

第十條 常ニ臥床寢具其他ノ備品ヲ整理シ何時ニテモ患者入院スルニ差支ナキ様用意シ置クヘシ

第十一條 臥床寢具其他ノ用具ハ猥ニ既定ノ配置ヲ變更スヘカラス

第十二條 入院患者ノ通知ヲ受ケタルトキハ左ノ各項ノ取計ヲ爲スヘシ

- 一 速ニ患者ヲ病室ニ導ク事
- 二 醫員ニ患者ノ入院ヲ通告シ取扱上ノ指揮ヲ受ケル事
- 三 醫員示定ノ食饌ヲ庶務部ニ申告スル事
- 四 患者ノ姓名標ヲ病室ノ入口ニ掲グル事
- 五 患者ノ附添人アルトキハ其住所姓名ヲ聞取り庶務部ニ申告スル事

第十三條 患者用藥劑及營養品等ハ處方録ニ基キ調劑部ヨリ受取り能ク其員數ヲ調査シ且ツ患者ニ服用セシムルトキハ其分量及時刻等ヲ誤ラサルハ勿論殊ニ内服藥ト外用藥トヲ誤用セサル様注意スヘシ

第十四條 醫員ヨリ命シタル藥劑營養品ヲ嫌惡スル患者アルトキハ懇ロニ諭シ猶ホ聞入サルトキハ醫員ニ申告スヘシ

第十五條 晝夜患者ノ容体ニ注意シ異變アルトキハ直チニ醫員ニ申告スヘシ殊ニ重症患者ハ一層注意ヲ要ス

第十六條 病室内温度ノ高底空氣ノ交換明暗ノ程度等ハ醫員ノ指揮ヲ受ケ常ニ注意ヲ怠ルヘカラ

ス

第十七條 病室内ハ勿論患者ノ被服身体ハ極メテ清潔ナラシメ殊ニ手術前後ハ最モ注意ヲ要ス
第十八條 回診前ニ必要ナル器械及療用品等ヲ準備シ病史處方録ヲ整ヒ患者ノ容体經過ヲ洩レ
無ク醫員ニ開申スヘシ

第十九條 患者手術場及各診察所ニ出ルトキハ必ス付添ヒ親切ニ介抱スヘシ

第二十條 院內ニ於テ大聲高談其他喧騒ニ涉ル動作又ハ賭事等ヲ爲ス患者アルトキハ院規ノ禁止タ
ル事及靜肅ニスヘキ事ヲ穩ニ論スヘシ若シ聞入レサルトキハ速ニ醫員若クハ庶務部員ニ申告ス
ヘシ

第二十一條 醫員ノ許可ナキ飲食物ハ假令患者ノ嗜好ト雖トモ決シテ飲食セシムヘカラス

第二十二條 患者又ハ庶務部員ニ取次方依頼アラハ速ニ其需メニ應スヘシ

第二十三條 病室内ニテハ一切煮焚セシムヘカラス

第二十四條 患者ノ病症輕重像後等ハ醫員ノ外言フヘキ事ニアラス故ニ患者若クハ來訪者ヨリ問
ハル・モ猥リニ自己ノ意見ヲ以テ之レニ答フヘカラス

第二十五條 患者外出セントスルトキハ先ツ醫員ニ申告シ其許可アルトキハ庶務部ニ申出ツヘシ

第二十六條 入院患者ニ付添人アリト雖トモ之レニ看病ヲ委スヘカラス

第二十七條 叢室ニ在ル患者危篤ニ陥リタルトキハ先ツ屏風ヲ以テ其臥床ヲ圍フヘシ

第二十八條 患者ノ排泄物ハ醫員ノ指圖アリタルトキハ所定ノ場所ニ取り置クヘシ

第二十九條 便器痰壺膿盆等ハ使用後直ニ消毒シタル上能ク洗滌シ何時ニテモ使用ニ差支ヘサル
様整備シ置クヘシ

但シ有毒ノ恐レアルモノハ取捨ツル際充分ノ消毒ヲ爲スヘシ

第三十條 患者又ハ附添人ヨリ金錢物品ノ贈與ヲ受クヘカラス若シ強ララルトキハ庶務部ニ申告
スヘシ

第三十一條 患者退院セントスルトキハ先ツ醫員ノ指揮ヲ受ケ庶務部ニ申告スヘシ

第三十二條 患者退院スルトキハ左ノ各項ノ取計ヒチナスヘシ

一 患者ノ病史体温表ハ主科部ニ差出ス事

二 處方録及ヒ療用品通知簿牛乳通知簿等ヲ庶務部ニ差出ス事

但シ處方録退院月日ノ傍ヲニ退院時刻及ヒ死亡シタルトキハ其時刻ヲ記スルコト

三 患者姓名標ヲ取消ス事

四 病室ヲ掃除シ且ツ寢具類ノ洗濯ニ付スヘキモノハ其旨直ニ庶務部ニ申告スル事

第三十三條 患者死亡シタルトキハ庶務部員ノ指示ヲ受ケ屍室ニ移ス手續ヲ爲スヘシ

但シ其所持品ヲ受取ルヘキモノアラサルトキハ庶務部ニ差出スヘシ

第三十四條 患者用臥床寢具其他備品ノ破損汚染紛失シタルトキハ取締ヲ經テ庶務部ニ申告スヘシ

第三十五條 入院患者療用品渡簿、食餌變更控簿、諸品請求簿ハ其受渡變更請求ノ都度詳細ニ記入シ庶務部ニ申告スヘシ

第三十六條 貸與品ヲ破損又ハ紛失セシトキハ取締ヲ經テ其旨直ニ庶務部ニ申告スヘシ

第三十七條 傳染病室ト普通病室トノ器具類ハ決シテ混用スヘカラス飲食ニ供スル器具ノ如キハ殊ニ一層注意ヲ加フヘシ

第三十八條 傳染病室ノ看病婦ハ充分消毒シタル後ニアラサレハ外出スヘカラス

第三十九條 傳染病患者ノ面會人アルトキハ醫員ノ指揮ヲ受ケタル後ニアラサレハ病室内ニ他人ヲ猥リニ出入セシムルヘカラス

但シ面會時間ハ凡十分以内トス

第四十條 傳染病患者ノ付添看護人ハ猥リニ外出セシムヘカラス止テ得サル事情アルモノハ適當ノ消毒ヲ行ヒタル後外出セシムヘシ

第四十一條 傳染病患者退院ノ節ハ室内ハ素ヨリ使用シタル悉皆ノ物件消毒シタル後ニ非ラサレハ使用スヘカラス

但シ消毒執行ノ場合ハ庶務部ニ申告シ検査ヲ受クヘシ

第四十二條 風火災其他非常ノ事變アルトキハ直ニ受持ノ病室ニ駈ケ付ケ醫員及庶務部員ノ指圖ニ從フヘシ

第四十三條 病症上醫員ヨリ特ニ命示ヲ受ケタル事項ハ詰所ノ掲示板ニ記載シテ引繼ヲ爲シ相互ニ其注意ヲ怠ルヘカラス

第四章 診察所及手術場心得

第四十四條 診察場詰看病婦ハ常ニ器具器械及カルテ類ヲ管守シ何時ニテモ診察ニ差支ナキ様整理スヘシ

第四十五條 毎朝出務ノ上ハ診察ニ必要ナル器具器械ヲ整置シ外來患者ノ診察券ヲ檢シ其番號姓名ヲ帳簿ニ記入シ受診ノ順次ヲ正スヘシ

但シ診察券ノ有効期限ヲ經過シタルモノアルトキハ規定ノ通り更ニ受ケシムルノ手續ヲナサシムヘシ

第四十六條 診察終リタルトキハ使用ノ器具器械類ヲ消毒シカルテ類ヲ整へ丁寧ニ取片付クヘシ
第四十七條 手術場看護人ハ器具器械及ヒ療用品ノ消毒ニ注意シ手術上差支ナキ様管理シ置クヘシ

第四十八條 常ニ室内ノ掃除及ヒ被服屬具身体ノ清潔ヲ主トスヘシ
第四十九條 各手術ノ等級及ヒ手術ニ要セシ療用品ハ洩レナク帳簿ニ記シ手術終結ノ上ハ醫員示定ノ手帳箋ヲ患者ニ交付シ等級簿ハ庶務部ニ差出スヘシ

第五章 一般勤務

第五十條 毎日出勤ノ節ハ出勤簿ニ各自押印ノ上服務スヘシ

第五十一條 看病人ノ勤務及ヒ休憩時間ハ別ニ定ムル所ニ依ルヘシ

第五十二條 勤務休憩ニ當ルモノ及其配置ハ庶務部ノ定ムル所ニ從フヘシ

第五十三條 猥リニ示定ノ勤務ヲ變更スヘカラス若シ變更ノ必要アラハ庶務部ニ申告シ其示定ヲ受クヘシ

第五十四條 勤務時間中ハ擅ニ詰所ヲ離レ又ハ私事ヲ爲スヘカラス

第五十五條 叢室ニ於テハ一人ノ看病人詰切リ諸般ノ注意ヲナスヘシ

但シ夜間ハ不斷巡回スヘシ

第五十六條 外出セントスルモノハ休憩時間内ニ於テ日ノ出ヨリ夜十時迄ヲ限リ庶務部ニ申出テ

外出券ヲ受クヘシ歸院シタルトキハ直ニ庶務部ニ返納スヘシ

但シ外出ハ市内ニ限ル若シ附近ノ町村ニ外出ヲ要スルトキハ其事由ヲ詳カニシ許可ヲ受クヘシ

第五十七條 病氣ノ外ハ欠勤スルコトヲ許サズ

但シ父母危篤ノトキ看病其他非常ノ事故アル場合ニハ其ノ願出ヲ調査シ許可スルコトアルヘシ

第五十八條 病氣ノ爲メ欠勤セントスルトキハ出勤時刻前ニ届出ツヘシ若シ欠勤二日以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診断書ヲ添フヘシ

第五十九條 實父母ノ祭日ハ休暇ヲ與フルニ由リ其前日届出ツヘシ

第六十條 手術場診察所詰看病人ハ其科醫員ノ昇院前ニ出勤シ退出後休憩スルモノトス

但シ休憩時間中ト雖モ臨時出勤セシムルコトアルヘシ

第六十一條 手術場看病人ハ一名宿直スヘシ

第六章 褒 賞

第六十二條 規程ヲ遵守シ勤勞アル者ハ左記ノ如ク行賞ス

- 一 臨時休暇又ハ滿一年間ヲ通シ二週間以内ノ休暇ヲ與フ
- 二 賞狀及ヒ徽章下付
- 三 慰勞金
- 四 増給

第七章 懲 戒

第六十三條 規程ヲ守ラス又ハ指令ニ背キ若クハ不都合ノ行爲アリタルトキハ其輕重ニ依リ左ノ如ク處分ス

- 一 譴責
- 二 外出停止
- 三 休暇停止

- 四 減給
- 五 免職

第八章 附 則

第六十四條 看病人講習生、見習生モ又此規程ヲ適用ス

第六十五條 總テ願届書類ハ院長宛ニシ看病人取締ヲ經テ庶務部ニ差出スヘシ

第六十六條 勤儉貯蓄ヲ旨トシ各自毎月日給二分ノ金額ヲ積立銀行ニ預ケ入ルヘシ

但シ積立金ヲ猥リニ引出スコトヲ許サス且貯金通帳ハ庶務部長ニ於テ保管スルモノトス

看病人採用規程

第一條 看病人ヲ別ツテ看護人、看病婦、看病婦講習生及看病婦見習生ノ四種トス

第二條 看病人ハ左ノ資格アルモノニ對シ試験ヲ行ヒ採用ス

但シ看病婦ハ主トシテ本校附屬^{産 産 婦 科}看病婦^{看護婦}講習所ニ於テ看護學卒業ノ者ヲ採用スルモ缺員アルト

キハ本文ニ據リ試験ノ上採用スルモノトス

一 家事上係累ナク且ツ配偶者ナキモノ(看護人ヲ除ク)

- 二 身體壯健ニシテ性行善良ナルモノ
 - 三 看護人及看病婦ハ二年以上看護ノ職ヲ執リタル證明アルモノ但シ看護人ハ其經歷ニ因リ適當ナルコトヲ認め得ルモノハ此限ニアラス
 - 四 看病婦講習生及看病婦見習生ハ二ケ年課程ノ高等小學校ヲ卒業シタル者、從前ノ規程ニ依リ四ケ年課程ノ高等小學校ヲ卒業シタル者又ハ本校ニ於テ二ケ年課程ノ高等小學校卒業ノ學力アリト認めル者
 - 五 年齢并ニ身幹
 - イ 看護人ハ男子ニシテ滿二十年以上四十五年未滿身幹四尺八寸以上
 - ロ 看病婦ハ滿十八年以上三十五年未滿身幹四尺六寸以上
 - ハ 看病婦講習生ハ滿十六年以上三十年未滿身幹四尺六寸以上
 - ニ 看病婦見習生ハ滿十四年以上二十五年未滿身幹四尺五寸以上
- 第三條 看病人志願者ハ志願書(書式一號)ニ履歷書(書式二號)及戶籍謄本ヲ添へ當院へ差出スヘシ但保證人ハ父兄又ハ親族ノ者トス
- 第四條 病人志願者ノ檢査科目ハ左ノ如シ

- 第一 體格檢査
 - 第二 學科試驗
 - 一 應問 簡單ナル問ヲ設ケテ之レニ對スル答ヲ求ム
 - 二 讀書假名交リ文
 - 三 作文假名交リ記事文又ハ往復文
 - 四 書取 假名交リ普通文
 - 五 算術 四則分數比例
- 第五條 看病人志願者ノ中左ニ該當スル者ハ學科試驗ノ全部又ハ一部ヲ省略スルコトアルヘシ病人
- 一 看護上相當ノ經歷アルモノ 看病婦
 - 一 看護上相當ノ經歷アルモノ 看護婦
 - 一 看護上相當ノ經歷アルモノ 看護婦若クハ產婆ノ免狀又ハ官公立學校若クハ病院ノ卒業證書ヲ有スルモノ
 - 一 看病婦講習生

一 二ヶ年課程ノ高等小學校又ハ從前ノ規程ニ依リ四ヶ年課程ノ高等小學校ノ卒業證書ヲ有スルモノ

第六條 試験ノ順序ハ體格檢査ヲ先ニシ次ニ學科試験ヲ行フモノトス但シ體格檢査ニ合格セサルモノニハ學科試験ヲ行ハス

第七條 採用セラル、トキハ七日以内ニ保證書(書式三號)及誓約書(書式四號)ヲ差出スヘシ但シ正當ノ理由ナクシテ本文期日内ニ差出ササルモノハ其採用ヲ取消スコトアルヘシ

保證人ハ二名ヲ要ス内一名ハ父兄又ハ親族ノ者トシ一名ハ京都市若クハ接續町村ニ居住ノ戸主ニシテ本人ノ身上一切ヲ引受クルニ足ルヘキモノニ限ル

保證人住所ヲ移轉シ若クハ改氏名シタルトキハ七日以内ニ届出ヘク又轉居及死亡等ノ爲メ其義務ヲ盡スコト能ハサル場合ハ其届出更ニ保證人ヲ定メ七日以内ニ保證書ヲ差出スヘシ

第八條 看病婦講習生ノ看護婦ニ必要ナル學科ハ本校附屬産婆看護婦教習所規則ニ依リ同所ニ於テ修學セシム但シ授業料ヲ徴收セス

看病婦勤務約年限ノ半バチ過クル者ニシテ勤務ノ傍産婆ニ係ル學科ヲ修メントスルモノハ詮議ノ上定員ヲ限り之ヲ許スコトアルヘシ此場合ニハ總テ前項ニ依ル但別ニ定ムル所ノ保證書并

ニ誓約書ヲ七日以内ニ差出サシム前項ノ實習ハ本院病室又ハ診察室手術場等ニ於テ練習セシム
第九條 看病婦見習生ニハ本院病室其他ニ於テ看護上ニ關スル事務等ヲ見習ハシメ又將來看病婦講習生トナリタル後ニ於テ講習上ニ必要トナルヘキ普通學ヲ時々教授ス
第十條 看病婦講習生ハ卒業後引續キ看病婦ニ採用ス採用後ハ滿一ヶ年間本院ニ従事スルノ義務アルモノトス

第十一條 看病婦見習生ニシテ成績良好滿十五年六ヶ月以上ノ者ハ第二條ノ年齢ニ拘ハラヌ試験ノ上看病婦講習生ニ採用スルコトアルヘシ

第十二條 看病人ノ日給ハ左ノ範圍ニ於テ給與ス但シ看護人、看病婦ニシテ多年動績シ其成績良好ナルモノニ限り特ニ日給七拾錢以上ヲ給スルコトアルヘシ

- 一 看護人 一日給料 金參拾參錢乃至七拾錢
 - 二 看病婦 一日給料 金參拾參錢乃至七拾錢
 - 三 看病婦講習生 一日給料 金貳拾四錢乃至參拾參錢
 - 四 看病婦見習生 一日給料 金拾八錢乃至貳拾四錢
- 寄宿舎ニ收容ノ看病人ニシテ病氣ノ爲メ指定ノ職務ニ服シ難キ者ハ其ノ間日給金拾貳錢乃至貳

拾錢ニ減額シ支給スルコトアルヘシ

第十三條 看病人ニハ一定ノ看病服并ニ附屬品ヲ貸與ス

第十四條 看病人看病見習生ヲ除クノ勤務誓約年限ハ左ニ記載スル所ニ據ル但シ病氣其他事故ノ爲メ缺勤三十日又ハ同上ノ爲メ缺勤外泊十日ヲ超ユルモノハ規定年限外尙其超過シタル日數ヲ延長ス

一 看護人ハ滿二ケ年間

二 看病病ハ滿二ケ年間但第十條ニ該當スル者及本校ニ於テ看病婦勤務契約年限滿了ノ上退職シ再就職ノモノハ滿一ケ年間

三 看病婦講習生ハ滿二ケ年間

第八條第二項ニ依リ産婆學修業ヲ許シタル者ハ前項第二號年限滿了後尙ホ二ケ年間勤務誓約年限ヲ延長ス

勤務誓約年限己ニ經過セシ者本條第一項但書ニ該當スルトキハ看病人規程ニ依リ行賞スヘキ休暇ヲ與ヘサルコトアルヘシ

第十五條 看病人ハ勤務誓約年限中ハ私事ノ故障ヲ以テ辭職スルコトヲ許サス

看病婦講習生ニシテ講習期間内又ハ講習卒業後看病婦勤務誓約年限内ニ於テ私事ノ故障ニ依リ

止ムヲ得ス辭職ヲ許シタルトキ又ハ懲戒免職トナリタルトキハ講習中ニ給與シタル給料ノ半額

及看病婦勤務誓約年限中ニ給與シタル給料全額ノ五分ノ一ハ一時ニ完納セシム

看護人并ニ看病婦ニシテ勤務誓約年限内ニ於テ私事ノ故障ニ依リ辭職ヲ許シタルキ又ハ懲戒免職トナリタルキハ在職中給シタル給料全額ノ五分ノ一ヲ一時ニ完納セシム但勤務成績良好ナリシ者ハ詮議ノ上減免スルコトアルヘシ第十四條第二項ニ依リ産婆學卒業ノ爲延長シタル年限ハ其ノ年期间ノミヲ以テ前各項ノ在職期間トス

第十六條 左ノ各號ニ該當スルモノハ其職ヲ解免スルコトアルヘシ但解職ノ場合ニハ前條ニ依リ給料ヲ完納セシムト雖モ其ノ情况ニヨリ詮議ノ上之ヲ減免スルコトアルヘシ

一 看病人ニシテ引續キ三十日以上疾病ノ爲メ缺勤シ又ハ勤務成績良好ナラス將來勤績セシムル見込ナキモノ

二 看病婦講習生ニシテ學期試験若クハ學年試験ニ再度落第シ又ハ勤務成績良好ナラス將來成業ノ見込ナキモノ

三 看病婦見習生ニシテ屢々勤務ヲ缺キ將來成業ノ見込ナキモノ

外宿ヲ許スコトアルヘシ

第十八條 看病人ハ看病人規程ヲ遵守スヘシ

第十九條 看病婦、看病婦講習生、看病婦見習生ニハ休憩時間ヲ以テ隨意科トシテ左ノ家庭教育

上必要ノ事項ヲ教授スルコトアルヘシ

炊事法、料理法、生花、茶の湯、禮儀作法、裁縫

第二十條 看病人一日ノ勤務時間ハ十時間乃至十四時間トス但シ講習時間ヲ包含ス

第二十一條 看病人左ノ停年ニ達スルモノハ解免ス但シ停年ニ達スルモ事務上必要ト認メタルモ

ノハ此限ニアラス

一 看護人ハ滿五十五年ヲ以テ停年トス

二 看病婦ハ滿四十五年ヲ以テ停年トス

第二十二條 特別ノ勤務ニ従事セシムル看病婦ニハ左ノ條項ヲ適用セサルコトアルヘシ

一、第二條ノ第一號、第五號、第四條、第十五條ノ第三項、第十七條、第二十一條ノ第二號

(書式一號)
(用紙半紙)

看護人(看病婦) (看病婦講習生) (看病婦見習生) 志願書

本籍何府縣何郡市區町村字何番地(戸)
現在住所同上

華士族又ハ平民職業

戸主又ハ何某長二男若クハ兄弟姉妹

片假名字ニテ傍訓ノコト

何 年 月 日生 某

私儀貴院看護人(看病婦) (看護婦講習生) (看病婦見習生) 志願ニ付御許可被成下度

履歷書并ニ戸籍謄本相添へ保證人連署此段相願候也

大正 年 月 日 右 本人 何 某 ㊟

何府縣何郡市區町村字何番地(戸)

身分職業

父兄又ハ親族

保證人 何 年 月 日生 某 ㊟

京都府立醫學專門學校附屬療病院長何某殿

(書式二號)
(用紙半紙)

履 歷 書

- 一何年何月某學校入學
- 一何年何月某學校卒業(又ハ退學何々修業)
- 一何年何月某官廳官公立學校病院赤十字社何々會社何々勤務拜命
但シ月俸又ハ日給何程
- 一何年何月某官廳公私立學校病院赤十字社何々會社何々辭職免職何々
- 一何々々
- 一賞 罰

右之通相違無之候也

大正 年 月 日

本人

何

某 印

(書式三號)
(用紙半紙)

保 證 書

本籍何府縣郡市町村字何番地(戸)
現住所同上

身分職業

戸主又ハ何某長ニ男若クニ兄弟姉妹

何

年 月 日 生 某

三 錢
收 入 印 紙 印

右ハ今般貴院看護人(看病婦)(看病婦講習生)(看病婦見習生)ニ御採用相候成ニ就テハ御規則類堅ク遵守致サスヘキハ勿論△勤務誓約年限内辭職願出ルカ又ハ退職ヲ命セラレタル節ハ在職中ニ受ケタル給料ノ内御規程ニ基キ一時ニ返納致サセヘク萬一本人ニ於テ完納セサルトキ又ハ御貸與品并ニ器具機械類ヲ損シ賠償セザルトキハ拙者等ニ於テ辨償シ其他本人ニ係ル一切ノ事件ハ引受ケ可申候仍テ保證如斯候也

大正 年 月 日

本籍何府縣郡市町村字何番地(戸)
現住所同上

身分職業

戸主父兄又ハ親族

保證人 何

年 月 日生 某 印

本籍何々
現住所何々

身分職業

戸主

保證人 何

年 月 日生 某 印

京都府立醫學專門學校附屬療病院長何某殿

注意

- 一 採用セラレタルモノハ第七條ニヨリ七日以内ニ此保證書ヲ差出スモノトス
- 一 看病婦見習生ハ△ノ下「他日看病婦講習生トナリ又看病婦トナリタルトキニ於テ」ノ二十五字ヲ挿入ス
- 一 看病婦講習生ハ△ノ下「他日看病婦トナリタル節ニ於テ」ノ十四字ヲ挿入ス

(書式四號)
(用紙半紙)

誓約書

看護人(看病婦)(看病婦講習生)(看病婦見習生)

何 某

年 月 日生

三 錢



收入印紙

今般貴院ニ御採用相成候ニ付テハ御規則類堅ク相守リ品行ヲ慎ミ忠實ニ勤務可致ハ勿論勤務誓約年限内ニ猥リニ辭職願出申候△萬一止ムヲ得ス辭職願出ルカ又ハ退職ヲ命セラレタル節ハ在職中支給セラレタル給料ノ内御規程ニ基キ一時ニ完納可仕又ハ御貸與品及器具機械類ヲ損シタル節ハ速ニ賠償可致候依テ誓約書差出候也

大正 年 月 日

右看護人(何々)

某 印

京都府立醫學專門學校附屬療病院長何某殿

注意

- 一、看病婦見習生ハ△ノ下「他日看病婦講習生トナリ又看病婦トナリタルトキニ於テ」ノ二十五字ヲ挿入ス
- 一、看病婦講習生ハ△ノ下「他日看病婦トナリタル節ニ於テ」ノ十四字ヲ挿入ス

(用紙半紙)

保 證 書 (産婆學修業者ニ係ル保證書式)

三 錢
收入印紙

看 病 婦
何 某

右ハ今般貴院看病婦勤務ノ傍ヲ産婆學修業御許可相成候ニ就テハ御規則類堅ク遵守致サ
スヘキハ勿論右修業中ニ係ル勤務誓約年限内辭職願出ルカ又ハ退職ヲ命セラレタル節ハ
其在職中ニ受ケタル給料内ノ御規程ニ基キ一時ニ返納致サセヘク萬一本人ニ於テ完納セ
ザルトキ又ハ御貸與品并ニ器具機械類ヲ損シ賠償セザルトキハ拙者等ニ於テ辨償シ其他
本人ニ係ル一切ノ事件ハ引受ケ可申候仍テ保證如斯候也

大正 年 月 日

本籍何府縣郡市町村字何番地(戸)
現住所同上

身分職業
戸主父兄又ハ親族
保證人 何 某

年 月 日生

京都府立醫學專門學校附屬療病院長何某殿

本 籍 何々
現住所何々
身分職業
戸 主
保證人 何 某
年 月 日生

注 意

一、保證人二名ノ内一名ハ戸主ニシテ父兄又ハ親族ノ者トシ一名ハ京都市若クハ接續町村
ニ居住ノ戸主ニシテ本人ノ身上一切ヲ引受クルニ足ルヘキモノトス

(用紙半紙)

誓約書 (産婆學修業者提出ノ誓約書式)

看病婦

何 某

三 錢
收入印紙

今般貴院看病婦勤務ノ傍ラ産婆學修業御許可相成候ニ就テハ御規則類堅ク相守リ一層品行ヲ慎ミ忠實ニ勤務可致ハ勿論右修業中ニ係ル勤務誓約年限内猥リニ辭職願出ルカ又ハ退職ヲ命セラレタル節ハ其在職中ニ受ケタル給料ノ内御規程ニ基キ一時ニ完納可仕又御貸與品及器具機械類ヲ損シタル節ハ速ニ賠償可致候依テ誓約書差出候也

大正 年 月 日

右

何 某

京都府立醫學專門學校附屬療病院長何某殿

京都府立醫學專門學校附屬療病院診察料其他徴收規則

第一條 京都府立醫學專門學校附屬療病院ノ診斷治療ヲ受クル者ニハ左ノ料金ヲ徴收ス但學用患者ハ其料金ヲ徴收セス

一診 察 料

一ヶ月間有効 金 參 拾 錢

往 診 料

部 長

市 部 一回 金 五 圓

郡 部 片道一里以内 一回 金 七 圓

管 以上一里迄ヲ加フル毎ニ金貳圓ヲ增加ス

外 片道五里以内 一回 金 拾 五 圓

以上一里迄ヲ加フル毎ニ金參圓ヲ增加ス

滯在 手當 一夜 金 五 圓

醫 員

市部	一回	金貳圓
郡部	片道一里以内 一回	金參圓
	以上一里迄ヲ加フル毎ニ金壹圓ヲ增加ス	
管外	片道五里以内 一回	金六圓
	以上一里迄ヲ加フル毎ニ金壹圓五拾錢ヲ增加ス	
滞在手當	一夜	金參圓
一藥價	普通藥	一日又ハ一方劑分金五錢乃至金貳拾錢
	貴價藥	一日又ハ一方劑分金五錢乃至金貳拾五錢
		但數量ニ據リ徵收スル特別貴價藥ハ此限リニアラス
一療用品料、營養品料	實費	
一手術料	<small>(手術ニ伴フ療用品料ヲ除ク)</small>	

一回	金五錢乃至金五拾圓
一入院料	<small>(貴價藥品料、療用品料、營養品料、手術料ヲ除ク諸費)</small>
普通病室	特等 一日分 金五圓
	一等 一日分 金參圓
	二等 一日分 金貳圓
	三等 一日分 金壹圓
傳染病室	
觀察室	一等 一日分 金參圓參拾錢
	二等 一日分 金貳圓參拾錢
	三等 一日分 金壹圓參拾錢
請神病室	甲 一日分 金壹圓五拾錢

乙

一 附添看護婦料 <small>(入院者ニシテ特ニ請 求スルモノニ限ル)</small>	一日分	金壹圓
一 蒲團	一枚一夜	金六錢以內
一 木炭	實費	
一 普通診斷書	一通ニ付	金參拾錢
一 特別診斷書	一通ニ付	金壹圓乃至金五圓
一 處方書	一通ニ付	金壹圓
一 身體檢查書	一通ニ付	金壹圓

診斷書、處方書及身體檢查書ハ同一ノモノ同時ニ二通以上ヲ要スル場合ニハ一通ノ外每通半額トス

第二條 料金ハ總テ之ヲ前徴ス但應急治療ヲ要スルモノニシテ收納ノ確實ナリト認ムルモノ又ハ往診料ニ限り後徴スルコトアルヘシ

入院料其他入院者ニ係ル總テノ料金ハ毎月十日、二十日及末日ヲ以テ打切り計算シ七日以內ニ之ヲ徴收ス

但精神病患者ニ對シ尙ホ一ヶ月以內徴收ヲ猶豫スルコトアルヘシ

前項計算以前ニ於テ退院スル者ニハ實際計算シ之ヲ徴收ス

第三條 入院ヲ豫約シタルモノニ對シ已ニ病室ノ準備其他豫メ入院ニ係ル手續ヲ爲シタルトキハ現實入院セサル日ト雖モ尙ホ料金ヲ徴收スルコトアルヘシ

第四條 總テ料金ヲ徴收シタル後ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第五條 本校院職員以下ノ者及本校學生、生徒其他知事ニ於テ必要ト認ムルモノハ特ニ本規則ノ料金ヲ減免スルコトアルヘシ

附則

第六條 本則ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

京都府立醫學專門學校校友會規則

第一章 總則

第一條 本會ノ名稱ヲ京都府立醫學專門學校々友會ト稱ス

第二條 本會ノ目的ハ相互ノ智識ヲ交換シ體力ヲ練リ德義ヲ養ヒ以テ校風ヲ振起シ同窓ノ和親ヲ謀ルニアリ

第三條 本會ハ校院職員、本校卒業生及同學生ヲ以テ組織ス

第二章 會員

第四條 本校學生ハ凡テ本會會員タルノ義務ヲ有ス

第五條 會員ヲ分チテ左ノ三種トス

- 一、正會員 本校學生
- 一、特別會員 本校卒業生
- 一、名譽會員 校院職員

第三章 事業

第六條 本會ノ目的ヲ達セン爲メ左ノ各部ヲ置ク

- 運動部
- 學術部
- 事務部

第七條 學術部ノ事業左ノ如シ

- 一 雜誌
 - 二 講演
 - 三 學術研究 (修學旅行)
- 第八條 運動部ノ事業左ノ如シ

- 一 水上
- 二 陸上 (弓術ヲ含ム)
- 三 柔道
- 四 庭球
- 五 擊劍
- 六 野球

第九條 事務部ハ庶務、會計、通信ヲ掌ル

第十條 學術部、運動部ノ事業ハ本會ノ總會ニ於テ其年度分ヲ議決ス

第十一條 事務部ハ總會ニ於テ其前年度ノ事務ヲ報告ス

第十二條 事務部ニ常設委員二名ヲ置クコトヲ得

但若干ノ報酬ヲナスコトヲ得

第四章 役員

第十三條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 會長 一
 - 一 副會長 一
 - 一 部長 三 (各部ニ一名ヅ、)
 - 一 評議員 若干名 (名譽、特別、正會ノ三會員ヨリ)
 - 一 實行委員長 若干名 (事業ノ如何ニヨリ數ヲ定ム且評議員ヨリ兼任スルコトヲ得)
 - 一 實行委員 若干名 (同上)
- 第十四條 役員ノ任選ハ左ノ如シ
- 一 會長 本校々長ヲ推薦ス
 - 一 副會長 名譽會員中ヨリ會長之ヲ囑托ス
 - 一 部長 同上

一 評議員 (名譽、特別、正會員中ヨリ)

一 實行委員長 名譽會員中ヨリ會長之ヲ囑托ス

一 實行委員 評議員ヨリ公選ス (四學年及三學年委員ヨリ各一名ヅ、)

第十五條 役員ノ職責左ノ如シ

- 一 會長 本會ヲ統理ス
 - 一 副會長 會長ヲ補佐ス
 - 一 部長 各部ノ事務ヲ整理ス
 - 一 評議員 事業及豫算ヲ評議ス
 - 一 實行委員長 (事業ヲ擔任シ部長ヲ補佐ス且其ノ部ノ實行委員ヲ監督シ其事業ヲ整理ス)
 - 一 實行委員 實行委員長ノ指揮ヲ受ケ各分擔ノ事業ヲ遂行ス
- 第十六條 役員ノ任期ハ一ケ年トシ毎年四月之ヲ改選ス
- 但再選スルコトヲ得

第五章 會費

第十七條 本會々費ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 正會員 一ケ年參圓

每年四、十一、ノ兩月本校授業料ト共ニ半額ツ、納入スルコト

一 特別會員 一ケ年壹圓 (前納)

但一時ニ六圓ヲ納入スル者ハ十ケ年會費ヲ徵集セス

尙一時ニ拾圓ヲ納入スル者ハ終身會費ヲ徵收セス

一 名譽會員 會費ヲ徵集セス

第十八條 新ニ入會スル者ハ入會金貳圓ヲ納ムル者トス

第十九條 本會々費ハ凡テ銀行ヘ預入スル者トス

第六章 議 會

第二十條 總會ハ毎年一回之ヲ開ク

第二十一條 評議員會ハ毎年四月之ヲ開キ事業及豫算ヲ協議ス

但必要ノ場合ハ臨時之ヲ開クコトヲ得

第二十二條 評議員會ニ於テ半數以上ノ承認ナク豫算以外ノ金額ヲ請求シ又ハ會則ヲ改正スルヲ得ス

但シ時機ニヨリ部長及評議員會ヲ開ク能ハサルトキハ會長ノ承認ヲ得テ一定ノ金額ヲ限リ一時支出ノ後詳細ヲ報告スル者トス

第二十三條 評議員會ニ於テ無斷出席セサル者ハ棄權者ト認ム

大正五年度校友會役員左ノ如シ

會 長

工藤外三郎

副 會 長

小川 瑳五郎

學術部長及評議員

本庄謙三郎

運動部長及評議員

赤座壽惠吉

評 議 員

吉川 順治

講演部實行委員長及評議員

角 田 隆

庭球野球部實行委員長及評議員

河村 叶一

雜誌部實行委員長及評議員

岡 島 敬治

劍道部實行委員長及評議員

加 治 安信

柔道部實行委員長及評議員

佐 谷 有吉

評議員	越智真逸
評議員	增田隆
評議員	常岡良三
評議員	廣木多三
評議員	立入保太郎
水上部實行委員長評議員	中村登
陸上部實行委員長及評議員	梅原和助
評議員	野田浦彌
評議員	中道貫一
事務部長及評議員	津里竹葉麿

特別會員評議員

田中秀三	親康賴順	木村得善	中村正勁
三宅宗淳	革島彦一	伏原寅男	久富猪一郎

高木克敬	田中繁三	神服空之助	竹岡友信
松山爲雄	中村關太郎	中村良淳	

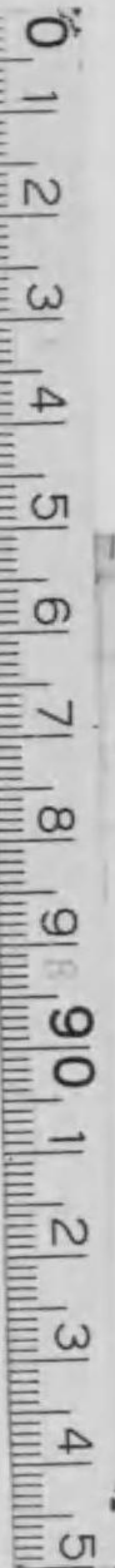
各部評議員及實行委員

事務部	藤島又三郎	古玉太郎	勝孝三	中堀俊一郎
雜誌部	高橋義行	溝部正忠	岡田才一	小峰喜一郎
講演部	津崎孝道	牛窪成恒	森杉要	只木良信
柔道部	三谷景夫	小笠原清	田村實	淺田操
劍道部	佐々木豊三	新海鉄義	松本逸格	三谷岩藏
庭球野球部	木戸禎爾	藤本源太	山口清次郎	濱田稻積
陸上部	宇野鬼一郎	西蔭隆男	水子眞澄	谷口清
水上部	安藤克巳	大塚俊雄	貝塚準司	毛利幸太郎
	伊達久彦	永田隆	船浴秀一	今井米喜
	野村男也	石原磊三	立川元造	高橋昇

解剖體統計表

年次	男	女	計	年次	男	女	計
明治七年	二	一	三	明治二十九年	二九	一二	四一
同八年	三	一	三	同三十年	三〇	一三	四三
同九年	七	一	七	同三十一	三〇	二〇	五〇
同十年	五	一	六	同三十二	三一	一七	四八
同十一年	五	三	八	同三十三	二三	一六	三九
同十二年	一一	五	一六	同三十四	二六	七	三三
同十三年	一四	一	一四	同三十五	二七	一六	四三
同十四年	五	二	七	同三十六	三六	三三	六八
同十五年	四	一	四	同三十七	四六	二一	六七
同十六年	一〇	二	一二	同三十八	三三	一四	四七
同十七年	一〇	四	一四	同三十九	四五	一〇	五五

同十八年	四	三	七	同四十年	三三	一八	五一
同十九年	四	一	五	同四十一年	三二	一四	四六
同二十年	五	六	一一	同四十二年	四五	二一	六六
同二十一年	九	一	一〇	同四十三年	五三	一九	七二
同二十二年	一〇	二	一二	同四十四年	五三	二〇	七三
同二十三年	一一	四	一五	大正元年	五八	一九	七七
同二十四年	一四	六	二〇	同二年	六九	五〇	一一九
同二十五年	一二	四	一六	同三年	六四	三五	九九
同二十六年	一四	四	一八	同四年	五九	三七	九六
同二十七年	一一	六	一七	計	一〇一三	四七四	一、四八七
同二十八年	二一	八	二九				



卒業生府縣別表

府縣數	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
京都	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

計 支那 沖繩 岩手 山梨 神奈川 德島 佐賀 埼玉 山形 北海道 宮崎 千葉 栃木 福島 青森 東京 群馬 熊本 香川 静岡 茨城 奈良 長崎 廣島 富山 新潟 岐阜 福野 長野 鳥取 愛媛 大根 秋田 和歌山 大分 福岡 岡山 山口 高知 鹿兒島 三重 滋賀 兵庫 石川 愛知 京都 府縣數

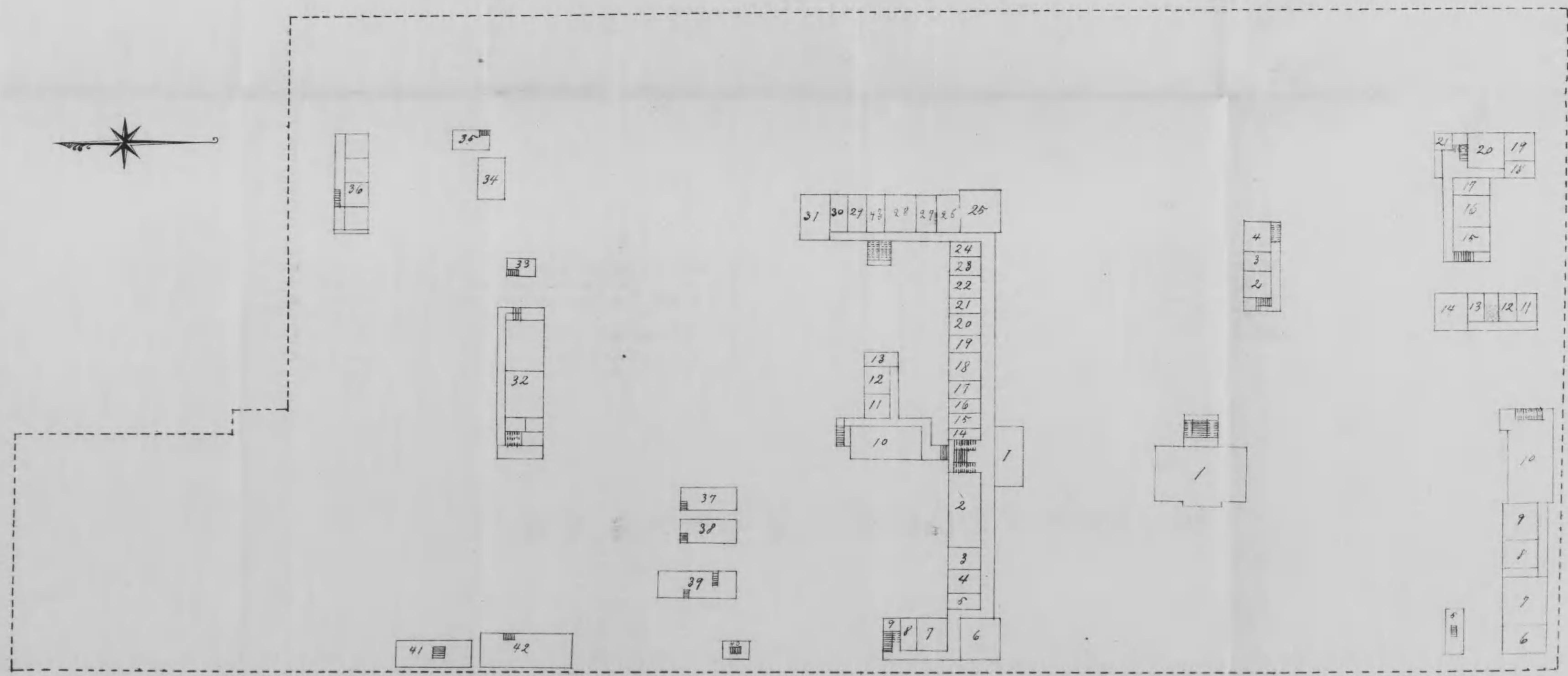
圖 京 都 府 立 醫 學 專 門 學 校 及 附 屬 療 病 院 建 築 圖

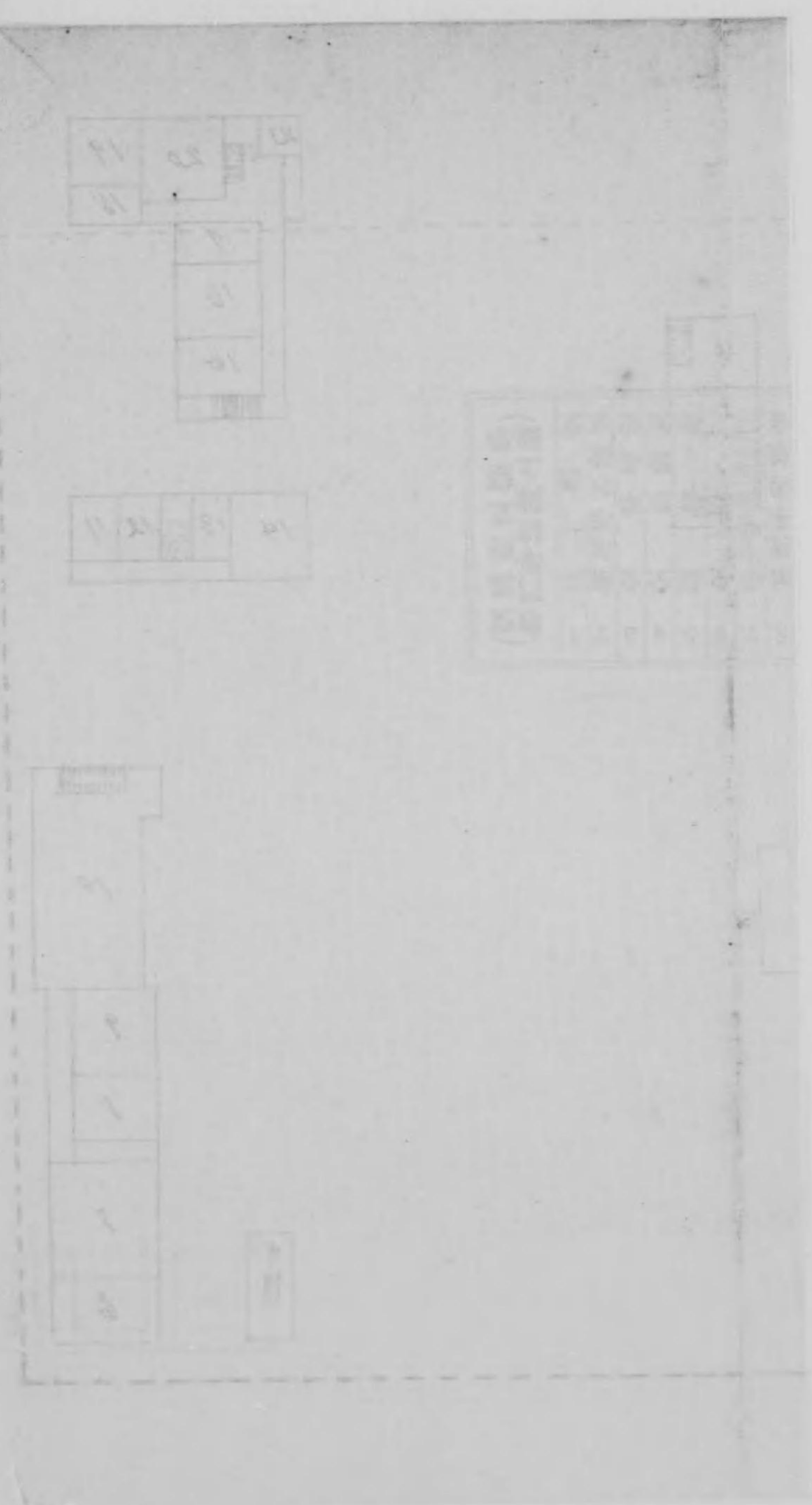
43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1							
內科	外科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科	牙科
醫士	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師	醫師

縮尺 六百分之壹

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器	器

面 上 階





大正五年六月十日印刷
同年六月十五日發行

京都府立醫學專門學校

京都市新町通三條上ル町頭町

印刷者 中村久作

京都市新町通三條上ル町頭町

印刷所 共立印刷所

終